



2011.9.30
第146号

発行
福島県市町村
教育委員会
連絡協議会
北耶麻沼
両支支支

編集
福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力
小・中学校長会

「人間らしく生きる」



会津地区社会教育指導員連絡協議会長

成田 正良

退職して早や二年半が過ぎ、現在私は社会教育指導員として、日々の講座をとおして小学生から中高年までの人たちと関わっている。

先日、小学生向けの「夏休み大作戦」の講座の中で、私は「杜子春」に出会った。

人間に愛想が尽きた杜子春は仙人をめざしたが、母の声によって最後の関門は閉ざされた。にもかかわらず鐵冠子に言った言葉『人間らしい暮らしをする』。衝撃を覚えた。この感情はあの日と同じだ。

私が芸能界の虚構の世界に身を

を置いていた、確か二十七歳の時である。末端でもがき、人間不信から自分を見失っていた私は、ある山寺にリュックひとつで飛び込んだのである。

冬、寺の修行は厳しいものであった。朝夜の座禅、掃除、読返しの毎日が続いた。厳しい戒律生活和尚と問答の日々は、いつしか私の心を徐々に和ませていき、悩みの心はすっかり晴れていた。ある日、和尚は私に「このまま、仏門に残りますか。」と言った。今から思えば、和尚の言葉は杜子春に対する鐵冠子の声である。私が選んだ道は、もとの世界の間人らしさだった。そして教職の道を歩み出し、年

齢を重ねた。

そんな道を歩んできたはずなのに、現職の最後の頃は、すべての苦悩から早く解放されたいと願う自分があった。退職後は平穩な心があると確信していたが、公私にわたって心は晴れにはならなかった。そんなとき震災が起り、私のみならず老若男女を問わず閉塞感を持つ人が多くなっていた。

「杜子春」に衝撃を受けてからのある日、出前講座終了後「先生の話を聞き、少し希望が出ました。」とある女性から思いがけない声をかけられた。被災から逃れてきた一女性の言葉であった。自分にも人を励ます力がある。私も生涯学習の世界で希望を持ち、人間らしく生きてみよう。悩みながらも…。



管理訪問(前期)を終えて

学校経営全体の課題解決に向けた支援を充実させるため、今年度から、所長訪問と管理訪問を併せて実施しています。訪問では、授業を参観するとともに、各学校の課題に関する協議に時間をかけ、課題の内容に応じた助言を行っています。

した。課題を的確に把握し、目標を明確に示して教員一人一人の意欲を高め、組織を効果的に動かすための校長のリーダーシップの重要性を改めて感じました。

一学期の訪問では、学力向上のための少人数指導や校内研究の工夫など、校長がリーダーシップを発揮して学校の課題に対する組織的な取組みが多く見られました。

不祥事防止の取組みにも工夫が見られましたが、会津域内では一学期に、体罰や酒気帯び運転の不祥事が発生してしまいました。教職員一人一人が、事故や不祥事を自分の問題として考えて未然防止に努めるよう、校内服務倫理委員会において事例研究や体験を生かした協議等を行うとともに、生徒指導においても組織的・計画的な取組みを進めていくことが必要です。

その一方で、授業における児童生徒の様子や教員の指導、教室の様子や学級経営など学習環境の状況に課題が見られた学校もありま

新しい体制が整った今、これまでの取組みを再点検し、課題解決や不祥事防止に向けて実効ある取組みをお願いします。

総務社会教育課 情報

1 地域家庭教育推進会津ブロックセミナー

- (1) 趣旨：各郡市PTA連絡協議会等との連携により、会津地区における家庭教育の推進や地域教育力の向上を図る。
- (2) 対象：関係団体及び関係者、各小・中学校保護者
- (3) 日時：平成23年11月26日（土）
- (4) 会場：会津若松市北会津公民館、北会津農村環境改善センター

2 子ども読書活動推進研修講座

- (1) 趣旨：地域で子どもの読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館の支援等もできる人材を育成する。
- (2) 対象：子どもの読書活動推進に向けて活動する方々、活動に関心のある方、学校図書館の支援等に関心のある方
- (3) 日時：平成23年12月7日（水）～9日（金）
- (4) 会場：会津若松市生涯学習センター「会津稽古堂」
- (5) 主な日程（案）

① 12/7（水）	概論研修（講演、講義）	13:00～16:20
② 12/8（木）	実務的研修（講義、演習）	10:00～16:00
③ 12/9（金）	先進事例に学ぶ（講義等）	10:00～15:00



* 詳細については、ホームページでお知らせいたします。 <http://www.aizu-eo.fks.ed.jp/>

1学期の学校訪問を終えて 学校教育課

震災の影響で授業がままならない地区が多い中、会津教育事務所管内の小中学校において通常の授業ができることはありがたい限りです。1学期は幼小中あわせて50回の訪問をさせていただきました。

以下、よく努力している点と課題として今後取り組んでいただきたい点について述べます。

- 幼稚園では計画的に環境を構成しながら、深い信頼関係のもとでのびのびとした保育が行われていました。
- 小学校では全面実施された新学習指導要領に沿った新しい授業のあり方を追究しようとする実践が多く見られました。
- 小・中学校ともに、言語活動の充実を現職教育のテーマとして取り上げている学校が見られました。注目度の高いテーマであるので、研究の深まりを期待しています。
- 自分の考えを素直に表現できる学級の雰囲気を支えられた授業が多くありました。学級づく

りや児童生徒相互及び教師と児童生徒の信頼関係づくりが授業の質に大きく関わります。学習の構えと同様に大切な視点です。

- 思考力・判断力・表現力の育成を目指した取組みが見られました。既成の型にとらわれることなく、十分な時間を確保して児童生徒の考えを引き出す授業が求められています。
- 学習内容が増えたことに伴い、指導内容的な確かな把握が必要になります。各教科・各学年ごとの指導内容一覧を作成するなどの工夫を次年度の教育課程編成で行ってください。
- 移行期間最終年度となる中学校においては、来年4月に全面実施される新学習指導要領による新しい授業のあり方を今年度のうちから研究してください。
- 県立高校入試や県立中学校適性検査の問題、全国学力・学習状況調査や定着確認シートの問題を分析し、求められている学力を身に付けさせるための実効ある取組みをお願いします。

甦る二つの群像

～行為の外在化と人格の内在化～

金山町教育委員会教育長

目黒 則雄

朝6時の「牧場の朝」、正午の「ふるさと」、夕方5時の「夕焼小焼」のメロディーは、金山町全町民に向けた防災無線放送から流れ、心地よい響きとなっている。毎日、同じメロディーであるが、晴れの日には爽やかに、雨の日にはしっとり潤いのあるものになり、新鮮さを感じさせてくれる。

こんな生活の中で、ふと、過去にお世話になった人の群像が甦ってくる。それも、一つの場面で二つの群像が対比して現れてくる。

一つ目の場面は、早く世を去った親父と101歳まで生き抜いた御袋の二人である。親父は厳しかった。私の行為に対して「良い・悪い」をはっきりと言う人だった。学校で怒られたことが親父に伝



わると、また、家で怒られた。学校での事実と違うような嘘をつく、「学校へ行って確かめてくるから。」と言われた。そんなとき、御袋は、陰から「則雄、また、怒られたか。反省し、明日から、がんばるんだぞ。」と支えてくれた。親父のしつけの厳しさと御袋の温かさは、見事に調和のとれたものになっていた。

二つ目は、中学校時代に職員室に呼ばれ、怒られたときの二人の先生の姿である。担任の先生は厳しさ一方の怒り方であり、こちらから口を挟む勇気もなかった。そのとき、担任の近くに居られた先生から、「則雄君、随分、叱られたね。後は名誉挽回。期待しているから。」と、心の後押しをしていただいたこと、これも、二人の先生の対応が調和のとれたものになっていた。

私は、「行為の外在化と人格の内在化」を生徒指導のキーワードにしたい。行為は明確に、心の面の人格は温めておきたい。「罪を悪んで人を悪まず」という諺が昔からあるではないか。

我がまちからの情報発信

磐梯町では、町民各年代が気軽に参加できるいろいろな生涯学習、生涯スポーツを行っています。中でも元気なお年寄りによるサークル『磐梯大学』が盛んに活動されています。

町内在住の60歳以上であれば誰でも参加することが出来ます。毎年4月から12月まで趣味の講座、実技講座、講話や研修活動もあり自然、生活、文化や趣味に至るまで幅広く学習して自己充実を図っています。

趣味、実技の講座の内容を紹介しますと、『ねんど』や『ちぎり絵』『エコ手芸』から『水墨画』といった幅広いアートの講座ではやはり長年の経験で養ってきた感性に講師のちょっとしたアドバイスですばらしい作品が出来上がり、大学生同士で自慢しあい切磋琢磨する様子が窺えます。

それに、秋に行われる磐梯町文化祭には大学での成果品の展示を行いますので、大学生のみならず、町内のいろんな世代に向けたアピールの場となり、作品にも力が入るところです。

それに加え『カラオケ教室』もあり日頃鍛えたのどに一層の磨きをかけるべく努力されている方もいらっしゃいます。

また、3B体操、グラウンドゴルフといったスポーツ講座では自分の体を無理なく動かし、まだまだ若いものには負けないといった気概が窺えます。

こうした講座では少年教室『ばんだいっ子クラブ』とのコラボもあり、孫ぐらの異年齢間の交流で、丁寧にルールやプレイの説明や作業の手ほどきをしたり、一層ハッスルしたりする方もいらっしゃいます。

講話では磐梯町の歴史を聞いてわが町を再発見

磐梯町教育委員会

したり、体を動かしながら『太極拳』の受講も体験したり、今まで未体験だった分野に興味も向けられることもあります。

研修活動では、県内はもちろん県外研修も計画され、視野をひろげ明日への活力を養い多くの土産を孫に買って満足いく研修となっています。

この『磐梯大学』では皆勤賞の制度もあり、みなさんその達成に向けて講座を休むことなく出席するよう心がけています。何よりも異年齢間の交流で生き生きとされる様子は、大学生一人一人のパワーとなりそれが町全体に波及し町が元気になる源であると思います。



ちぎり絵

グラウンドゴルフ



作品と指導

習字

三島町立三島中学校
一年 細堀 華

『大洋』



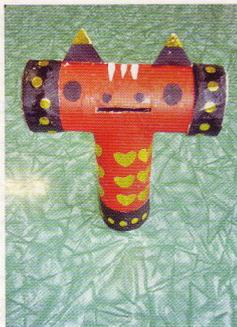
丁寧な筆遣いで言葉の意味のよう
に雄大でのびのびと書かれた、
いい字です。行書の特徴を理
解し、形の変化や行書の基本
点画の筆遣いがよくできてい
ます。柔らかな筆圧の変化と線
の連続性も見事です。

指導者 木野 秀樹

工作

会津若松市立鶴城小学校
一年 鈴木 麻生

『あかべこちよきんばこ』



ラップの芯を組み合わせて、
じょうぶな貯金箱を作りました。
形は「うちでのこづち」を、模
様は会津で有名な「赤べこ」を
イメージしています。

色紙をていねいに貼り合わせ
ながら、赤べこの色やかかわいら
しい模様を出しています。

指導者 松浦 広美

絵

喜多方市立会北中学校
二年 上野 桂育

『春の訪れ』



身の回りにある草花を表現し
ました。色材として和紙を細か
く千切って貼り付けました。和
紙は水彩絵の具を用いて染色し
ました。従来とは異なる根気
がある作業となりましたが、
集中して取り組むことができました。

指導者 馬場 尚

私の抱負

「自分を誇れる子ども」
「地域に誇れる学校」



西会津町立校 長 寅記
奥川 佐藤

奥川小学校の子供たちは、
伝統的な合奏活動と厳しくも
温かな地域の教え、そして豊
かな自然を通して育んだ思い
やりや協調の態度に秀でてお
り、何事にも真摯に取り組ん
でいます。
次年度、統合を控えた奥川
小の校長として、「心豊かな
人づくり」をめざした町の方
針を基盤に据え、子供たち・
保護者の想いや不安、学校の
課題を明確にして、組織的
で着実な学校経営を進めてい
かなければならないと考えてお
ります。
私の持ち味であるフットワー
クを生かし、教職員のチーム
ワークを堅固なものにする
とともに地域の教育ネットワー
クを広げるなど、先生方や地
域のよさ、強みを引き出し生
かしながら標記の児童像、学
校像を目指して誠心誠意努力
していきたく思います。

新任教頭として



昭和村立 昭和中学校 教頭 橋本 公秀

八月一日の人事異動により、
新任教頭として着任しました。
緊張の中、二十四人の生徒の
大きな声での校歌に迎えられ
ました。前例のない時期の異
動だからこそ、生徒、保護者
の方、地域の方、先生方との
出会いをより一層大切に、
期待にこたえられるように職
務に当たっていきたくと思っ
ています。
昭和中の合い言葉は、「志
を高く持ち、自らの意志で可
能性に挑戦する」です。福島
県の復興には、教育の力は欠
かせません。私たちの実践が、
生徒の可能性をより広げ、復
興を後押しし、多くの方々の
幸せに貢献することを信じて、
校長先生の指導の下、組織の
力を最大限に生かし、教育活
動に邁進したいと思えます。

新採用教諭として



喜多方市立 第二中学校 教諭 小針由美子

四月一日から新採用教諭と
して、喜多方市立第二中学校
に着任しました。新しい土地
への赴任で不安や緊張の毎日
でしたが、素直で素朴な生徒
と接するうちに、だんだんと
緊張もほぐれました。
蔵の町で有名な喜多方には
沢山の地域行事があり、祭り
に積極的に参加する生徒たち
の様子を垣間見て、生徒たち
が校外でもしっかりと地域に
貢献し活躍していることを知
りました。地域が一丸となっ
て子供たちを育てていること
に感激し、このような地で教
育に携われることを大変嬉し
く思いました。
今後は、自分自身も地域の
一員として、子供たちの教育
に全力で取り組み、生徒の生
き生きとした表情に毎日出会
えるよう自分自身を磨いてい
きたいと思えます。